

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

2022年度 大障教定期大会

大障教は5月21日、2022年度定期大会を開催し、執行部から経過報告および運動方針案、決算・予算案が提案されたのち、討論には7分会3専門部の10名が発言しました。討論を受けての採決で、すべての執行部提案が圧倒的多数の賛成で決定されました。大会には、障害児(者)を守る全大阪連絡協議会、大阪教職員組合をはじめ全教職員教育や近畿ブロックの各組織から激励のメッセージが多数寄せられました。

平和を願う声、いま大きく

開会あいさつの中で西面友史委員長は、ロシアによるウクライナ侵略に対して、世界中で「戦争反対」「国連憲章を守れ」の声があがる一方で、国内ではこの機に乗じて、軍事費2倍化、敵基地攻撃能力の保有や核共有の議論など大軍拡を推進し、憲法9条改憲をめざす動きが加速していることに言及。「世界の流れに逆行するこうした暴論は許されない」と述べ、「『平和』な社会があつてこそ豊かな



あいさつする西面委員長

障害児教育が成り立つ。私たち教職員組合が、平和を願う声を大きく上げよう」と訴えました。さらに西面委員長は、教育条件面の成果として、長年求め続けてきた特別支援学校の設置基準制定を実現したことを報告。「広範な人々とつながり声を上げれば政治も動かすことができると強調しました。また、西面委員長は、3月1日公表の文科省の特別支援学校教室不足調査で、大阪は全国ワーストの528教室の不足が明らかになったことに触れ、「府立支援学校の新校整備署名をさらに積み上げ、障害児学校の教育条件改善を強く求めよう」と呼びかけました。

要求集め、職場から取り組みを広げよう

山内富士生書記長は、経過報告と運動方針案の提案とともに、当面の取り組みとして、①府立支援学校の人権侵害とも言える大阪の実態を知らせ、請願署名運動を軸に支援学校増設の世論と運動を広げる、②各分会で職場要求アンケートに取り組み、職場要求書を作成し、校長・准校長にその実現を求める、③職場から憲法学習をすすめる、「憲法改憲を許さない全国署名」を広げる、④すべての分会で力をあわせ、大障教組織1割拡大の実現を提起しました。



すべての議案が可決され
団結ガンバローで締めくくりました

討論で、四條畷校・鈴木代議員は、「職場要求アンケート」の取り組みを発言。「職場の願いを大障教・課別交渉で取り上げ、洋式トイレ増設が実現」と報告しました。青年部・箕輪代議員は、青年部委員会を毎月開催し、青年の近況や悩み、思いなどを自由に語り合つて、交流している

取り組みを発言しました。生野聡覚・丹治代議員は、産育休などの代替教員が見つからず、多忙な現場がますます大変になっている現状を告発。「教育行政は講師不足問題の解決のため本気の施策を示すべき」と力説しました。北視覚・尾方代議員は、北視覚支援学校の本科保健医療科の募集停止を大阪府が強行したこと、「中途視覚障害者の社会復帰を妨げる人権侵害」と教職員・関係者が撤回を求め立ち上がった取り組みを発言。寝屋川・門田代議員は、保護者・教職員・地域住民が共同し毎年2000筆の学校建設署名を集約している寝屋川の活動に触れ、「街頭署名では道行く人が次々と足を止めて、1時間で100筆」と報告しました。寄宿舎教員部・白木代議員は、7月30・31日に大阪開催の全国寄宿舎学習交流集会について、「子どもの成長のため寄宿舎の役割を発信したい」と発言。女性部・荒木代議員は対府交渉について発言し、体育実技軽減の栄養教諭への適用、不妊治療では有給の出生サポート休暇を実現させた取り組みを報告しました。泉南・奥野代議員は、「戦争の危機が現実となる情勢。不戦を誓った9条を今こそ高く掲げよう」と発言。大手前・西田代議員は、ウクライナ危機に乗じた9条破壊にストップをかけるたたかひの重要性に触れ、「7月投票の参議院選挙で政治を変えよう」と訴えました。他に職場でのパワハラ根絶に向けた取り組みの報告がありました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



1972年5月15日に沖縄が本土に復帰してから15日で50年目の節目を迎えました。復帰50年を迎えた現在でも、1人当たり県民所得は全国の7割の水準にとどまり、県民が求めてきた自立型経済の構築には至っていない現状です。特に、国土面積の0.6%の沖縄に在日米軍専用施設面積の70.3%が集中し続けていることは、復帰当時に県民が期待した「本土並み」には程遠い惨状です。復帰50年の国会決議にむけた野党原案は、日米地位協定の早急な見直し、新型コロナウイルスの感染拡大をふまえて、在日米軍に日本の検疫を適用するよう明記されていたものが、自民党との協議の結果、いずれも削除されました。第6波のオミクロン株の拡大は、昨年9月以降、在日米軍に日本入国の際の出国前検査を免除するなど、水際対策を緩和したことにより大きな要因があるとの指摘がなされています。米軍任せでは県民・国民の命と安全は守れません。

また、米軍関係者による事件・事故、米軍機の墜落と昼夜を分かたぬ爆音、実弾射撃訓練に伴う流弾・原野火災、有機フッ素化合物PFASなどによる環境汚染によって、県民の命とくらは脅かされ続けています。昨年10月には、米海兵隊員による女性への性的暴行事件が明らかとなり、今年8日にも米海兵隊員が運転する車が歩行者をはね死亡させる事故が起きています。

米軍に治外法権的な特権を保障する日米地位協定をいつまで放置し続けるのか、沖縄県民の民意を踏みにじり強行される辺野古新基地建設と合わせて、政権を担ってきた自公政権やウクライナ危機に乗じて軍拡・核共有を推し進める維新の会などの改憲勢力に参院選ではきつぱりとNOを突きつける必要があります。

人間らしく暮らせる社会へ

大阪メーデー

雨の降る5月1日、第93回大阪メーデーが3年ぶりに扇町公園で開かれ、1200人が参加しました。

菅義人実行委員長（大阪労連議長）は、「いのちと健康、安全を最優先にコロナ対応の最前線で働くケアワーカー、エッセンシャルワーカーの大幅賃上げと処遇改善が急がれる」と強調しました。さらに、「コロナ危機の中で病床削減やカジノ誘致を優先させてきた維新政治を批判するとともに、



憲法を守り、いのち・雇用・生業を守る5・11中央行動

5月11日、初夏の晴れ渡る空のもと、全労連・国民春闘共闘委員会主催の国民春闘勝利中央総決起行動に参加しました。

日比谷野外音楽堂の集会で全労連の小畑雅子議長（全教出身）は、「春闘の賃上げはコロナ前の水準を取り戻した

教職員の大幅増員を訴えるデモ行進



憲法を守り生かす社会に

輝け憲法！平和といのちと人権を！5.3おおさか総がかり集会

「22春闘で勝ち取った賃上げなどの前進を足がかりにたかいたかきを広げ、四半世紀ぶりに及ぶ実質賃金低下や格差拡大を是正する政治をつくらう。働く者の団結で、8時間働けば人間らしく暮らせる社会の

論議」と厳しく批判しました。さらに、「立憲主義と民主主義を取り戻す政治を実現しよう。ロシアによるウクライナ侵攻を一日も早く止めるため、ウクライナ市民の抵抗とロシア国内の反戦運動に連帯しよう」と呼びかけました。

実行委員会を代表して開会あいさつした米田彰男さん

「戦争させない1000人委員会」は、ウクライナ侵攻をめぐり、安倍元首相や日本維新の会の政治家たちが、「核武装なしに日本は守れない」と憲法改悪や「非核三原則」



集会でスピーチを聞く参加者

見直しを主張する事態について、「憲法9条に違反し、世界を核の危機に陥れる危険な

立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の各代表のあいさつやウクライナ



訴えを書いたうちわを手に声を出さずに行進しました

2022年度 大障教・新陣云任歓迎教研② 「絵本でこどもたちにつたえたいこと」



講師：長谷川義史さん (絵本作家)

日時：6月3日 (金) 19:00~21:00 (18:30開場)

場所：阿部野区民センター「小ホール」

参加費：1000円 (組合員無料(-))

申込は、各職場で配られている参加申込書にお名前、所属校、連絡先、組合員or未組合員をご記入の上、FAXしていただくか、上記内容を明記してメールで申し込んでください

メールアドレス fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

※5月31日 (火) までにお申し込みください

※手話通訳希望の方は27日 (金) までにお申し込みください

国会議員要請では衆議院議員会館に行き、大阪選出と徳島選出の衆議院議員に最低賃金引上げ、全国一律最低賃金制度の確立を求めて要請して

署名提出などは人数制限がありました。国会請願署名の提出、各庁要請とともに国会周辺をデモ行進しました。コロナ禍で

(書記長 山内 章生)

り、参加できず残念でした。しかし、久しぶりに全国からあつまる中央行動開催され、同じ思いであつまれたことに勇気と元気をもらうことができました。